

松本理論を知り、西洋医学が絶対ではない
と気づいた看護師の方の手記。

「アトピー手記 松本医院と出会って」 匿名希望

37 歳

2015 年 12 月 28 日

先日の受診の際に、院長から手記を書くように言われた私は、「正直、完治していないのでまだ早い」と思いました。しかし、現在の皮膚は、搔くとすぐ出血してしまうほど脆かった頃（初めて受診した時）や、赤く恐竜のごわごわだった頃（治療を開始してリバウンドした時）と比べると、丈夫になり、変化してきていることを感じます。現時点では、まだ皮膚の痒みもあり、掻き傷が絶えないのですが、皮膚は変化しているので、自分の免疫を高め、1日でも早くアトピーを完治させたいと思っています。

私と松本医院のそもそもの出会いは、漢方でアトピーを治せないかとインターネットで探していたところ、ある方のアトピーの手記を偶然読み、そこから松本医院のホームページを見つけたことから始まりました。

私は、引き込まれるようにホームページ内のアトピーに関する箇所を読み始め、すぐさま“松本理論はすごい”と思いました。内容は難しかったですが、「アトピーの治療法はこれだ！」と思い、すぐにでも、松本医院へ行きたくなりました。私のこの手記も、苦しんでいる方の目に留まり、松本医院と出会って、1日でも早く回復へ向かわれる手助けになればと思います。

私がアトピーを発症したのは、12歳ぐらいの頃でした。最初はまぶたに痒みや湿疹が出たと思います。それが徐々に体全体へと広がっていきました。中学・高校・専門学校時代は皮膚科を転々とまわり、ステロイドの軟膏で対応していました。最終的に、私の住んでいる地域で、皮膚科に関して名の知れた個人病院へ通院していました。

しかし、ある日、自分のごわごわした皮膚を見て、“このまま薬を塗り続けていて良いのだろうか？”と疑問に思い、脱ステロイドを決意しました。それは27歳の時の事でした。そして、そこから民間療法を開始しましたが、顔は赤く、皮膚はボロボロで、一時良くなった時期もあったのですが、完治はできま

せんでした。そして、大きく悪化してしまった私を見かねた親が、南国の有名なTS病院をはじめ、全国に何カ所かある診療所へ連れて行き、入院に至りました。

その病院へ入院して得た収穫は、入院中知り合った仲間から色々な情報を集めた結果、“アトピーは完治しない”という事実がわかった事でした。その後、一時的に皮膚は綺麗になった後、またアトピーが出てくることを繰り返し、TS病院の医師から診察時に、「薬を切らさんように」と言われたこともありました。今思うと、「ずっとステロイド軟膏を塗り続けたいいけない」ということであり、恐ろしいことです。

結婚し、一人目の出産をし、冬になると、ステロイド皮膚症のため、明らかに手の内側が真っ赤で異様な皮膚になりました。結局、地元の皮膚科を受診し、またステロイドを塗り始めてしまいました。出来るだけステロイドを使用したくなかったので、ランクの低いステロイド薬を出してもらおうよう医師に相談し、処方してもらっていましたが、ステロイドはステロイドであり、今思うと無意味だったと思います。

二人目（年子）を出産し、また冬になり、ステロイド皮膚症のため、異常な皮膚を見ていると、このままステロイド治療を続けることへの不信感、今後自分はどうなってしまうのかという不安感が生まれてきました。そこで、違う治療はないものかと探し、漢方に興味関心を持ち始めた結果、松本医院と出会うことが出来たのです。

私の仕事は看護師です。ちょうど二人目を出産し、育休中であつたこともあり、この期間に治療を行いたいと考えました。旦那は治療に反対しなかつたのですが、私の両親がなかなか賛成してくれませんでした。遠方なので、子供を預けて通院しなければならなかつたため、結局通院できたのは松本医院を知つてからの2か月後の平成27年の3月でした。

初診は副院長先生でしたが、院長先生とも話をすることができました。そして、皆さんの手記に書いているように私も握手していただき、治療を頑張ろうと決心しました。

治療を開始するとリバウンドは必ずあります。痒みが酷く、電話で院長先生に相談した時には、「嫌なら自分の病院で治療したらえええ！！病気は誰が治すんや！？」と喝を入れられたこともありました。また、知識が豊富な先生は電話で面白い雑談もして下さいます。

「真実を言っているんや」と話して下さいます。先生の名言を紹介すると、「病気を治すのは自分や！」、「ヘルペスで死にはしない！」、「世界で最高の医者は遺伝子」、「最高の製薬会社は免疫」などです。“なるほど”と思う言葉がたくさんあります。

2週間に1回の電話診察では、先生から元気をもらっているようにも思いません。私は、長期間ステロイドを使用してきました。ステロイドを使用している間にヘルペスを増殖させてしまったので、ヘルペスとの戦いを強いられました。

(現在も戦っております) 最初、掻き傷とヘルペスの傷の違いが分からず、先生に相談しようと患部の写真をメールでお送りしたところ、先生から電話があり、「この写真はヘルペスや」と教えていただいたことがあります。先生の方から連絡があるとは思ってなかったのでびっくりしたことを覚えています。先生の元へは、全国から、たくさんの患者さんが来られ、とても忙しいと思います。そんな中、きちんと患者の訴えを聞き入れ、患者の欲しい答えを返してくれる先生の姿勢はすごいと思います。病院勤務の私からすると、データばかりに注目し、患者の訴えをじっくりと聞かない医師が多いからです。本来の医師の姿を院長から感じる事が出来ます。

さて、ヘルペスの話に戻ると、私は現在、保険適応にならない抗ヘルペス剤の内服治療をしています。他の方も手記に記載されていますが、ヘルペスの治療のために、高額な医療費を強いられています。効果があるという真実を、つまり抗ヘルペス剤の効果を国が認め、保険適応に一日でも早くなることを強く願います。

現在、アトピーに対しては、標準治療とされているステロイド使用を中心とした治療で世の中が回っていますが、ステロイドで完治した人がいるのかは疑問です。私は、西洋医学や医師の指示した治療が絶対だとは限らないことを松本医院に出会って気づきました。漢方の力は優れたものだと思いますし、自分の免疫を高めることが大事であること知ること、安易に薬に頼ってしまうことは恐ろしいことだと学びました。

見た目を気にして、すぐに薬に頼ってしまう現代においては、患者は自分の免疫を抑え込んで、結局は病気を悪化させてしまっていると思います。冬になると、テレビから流れる、あかぎれや痒みのための薬のCM、春には花粉症の薬のCM、これらを見ると、ぞっとします。ステロイドが入っているかもしれない軟膏、抗ヒスタミン剤、これらの薬に安易に手を出してしまうと、後から恐ろしいツケが回ってくるという真実を知っている人は少ないでしょう。

松本理論は難しいと思いますが、先生の理論を読むことで真実が見えてきます。ネット社会の現代ですから、悩み苦しんでいる方がどこかで私の手記に出会い、少しでも役に立てて下さるなら良いなと思います。そして、一日でも早く行動を起こした方が良いと思います。自分の気持ちを信じて下さい。松本医院との出会いで、今までの病気に対する考え方が変化しました。完治に向けて、まだしばらく時間を要すると思いますが、先生と松本理論を信じて頑張っていこうと思います。